

功労調書

一、略歴

(職名) いなべ市教育委員会教育委員 (氏名) 水貝 和代

平成十四年十月一日	員弁郡員弁町教育委員会委員に就任
平成十五年十二月一日	市町村合併により失職
平成十六年一月三十日	いなべ市教育委員会教育委員に就任(平成二十年一月二十九日退任)
平成二十年一月三十日	いなべ市教育委員会教育委員に就任(平成二十四年一月二十九日退任)
平成二十四年一月三十日	いなべ市教育委員会教育委員に就任(平成二十八年一月二十九日退任)
平成二十八年一月三十日	いなべ市教育委員会教育委員に就任(現在)
平成二十一年一月三十日	いなべ市教育委員会教育委員長職務代理者に就任(平成二十二年一月二十九日退任)
平成二十二年一月三十日	いなべ市教育委員会教育委員長職務代理者に就任(平成二十三年一月二十九日退任)
平成二十三年一月三十日	いなべ市教育委員会教育委員長職務代理者に就任(平成二十四年一月二十九日退任)
平成二十四年一月三十日	いなべ市教育委員会教育委員長職務代理者に就任(平成二十五年一月二十九日退任)
平成二十五年一月三十日	いなべ市教育委員会教育委員長職務代理者に就任(平成二十六年一月二十九日退任)
平成二十六年一月三十日	いなべ市教育委員会教育委員長職務代理者に就任(平成二十七年一月二十九日退任)
平成二十七年一月三十日	いなべ市教育委員会教育委員長職務代理者に就任(平成二十七年三月三十一日退任)

二、功労の内容

(一) 豊かな知識と経験且つ、崇高な人格をもつて、(旧)員弁郡員弁町教育委員会教育委員及びいなべ市教育委員会教育委員として、十六年の永きにわたり教育行政に携わり、学校教育や社会教育の充実、地域文化の発展等に多大な貢献をした。また、六年の永きにわたり教育委員長職務代理者を歴任し、委員長の補佐役として大いに尽力した。

(二) 員弁郡内四町合併当初の平成十六年一月、いなべ市教育委員会教育委員に就任し、いなべ市政発足間もないいなべ市にあつて、解決すべき教育行政上の課題が山積しているなか、員弁町教育委員会教育委員の豊かな経験をもとに旧町のすぐれた教育施策の継承統合を推し進めた。また同時に、新たな教育事業の推進にも積極的に尽力した。

(三) 学校教育においては、平成二十四年度から学校規模の適正化に取組み、平成二十五年度に「新しい学校づくり推進ビジョン」を受けて、平成二十六年から市内の学校で小中一貫教育を進める事業に尽力した。藤原地区五小学校の統合に力を注ぎ、平成二十六年四月に、新たに、施設一体型小中一貫教育校として藤原小学校が開校し、義務教育九年間を見通した連続性と一貫性のある教育活動の推進に大いに貢献した。

(四) 教育施設視察の際には、豊かな経験をもとに学校や授業の取組について問題提起や改善策の提案を積極的に行った。また、地域の行事にも積極的に参加し、地域との連携を図りながら教育行政に多大な貢献をした。

功労調書

一、略歴

(職名) 東員町教育委員会教育長

(氏名) 岡野 讓治

平成二十一年四月一日	東員町教育委員会教育長に就任	(平成二十四年十月五日退任)
平成二十一年四月一日	東員町教育委員会委員に就任	(平成二十四年十月五日退任)
平成二十四年十月六日	東員町教育委員会教育長に就任	(平成二十八年十月五日退任)
平成二十四年十月六日	東員町教育委員会委員に就任	(平成二十八年十月五日退任)
平成二十八年十月六日	東員町教育委員会教育長に就任	(現在)

二、功労の内容

(一) 東員町十六年一貫教育プラン策定
平成二十五年四月に胎児を起点としたすべての子どもたちが、社会でいきいきとした自分の人生を歩めるように、子どもたちの「基本的信頼感」、「自己肯定感」、「自己有能感」の3つの感を育むことを目標とした「東員町十六年一貫教育プラン」の策定に尽力した。

(二) 東員町子どもの権利条例制定
平成二十七年六月に子どもの権利が尊重され、すべての子どもが愛される社会実現のため、三重県内の町で初めてとなる子どもの権利条例の制定に尽力した。

(三) 東員町教育施策大綱策定
平成二十八年三月に東員町の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱である、「東員町教育施策大綱」の策定に多大な貢献を果たした。

(四) 教育環境の整備
教育環境向上のため、屋外プールの改修、学校トイレの高品質化、小中学校の体育館入口のバリアフリー化などの施設改修を積極的に推進した。

(五)

伝統芸能の継承

七世松本幸四郎丈の生誕の地である東員町の伝統芸能「こども歌舞伎」の支援にあたり多大な貢献をした。